

## 上部消化管(食道・胃・十二指腸)内視鏡検査説明書

### [検査の目的]

食道、胃、および十二指腸疾患の診断

### [検査の内容]

原則、絶食状態で午前中に検査を行います。胃内の泡を消すための液体を100ml予め飲んでいただき、次に喉の麻酔を行います。検査室のベットに移動し、左側を下にして横になり、マウスピースを咥え、口から内視鏡を挿入し、食道、胃、十二指腸の観察を行います。唾液は飲み込まず、自然に出すようにしてください。

検査中は検査医の指示に従ってください。

病変が発見され、生検(組織検査)をすることがあります。この場合、保険請求のため自己負担が生じることがあります。

### [検査予定時間]

内視鏡を挿入してから抜去するまでは約5分程度です。

ただし病変が発見され、色素散布、生検などを行う場合は更に時間を要することがあります。

### [予測される危険]

基本的には安全な検査ですが、出血、穿孔などの合併症頻度は0.012%(1万人に1人)程度と報告されています。死亡率は0.0002%(50万人に1人)です。

穿孔が起こった際にはお腹の中に空気や消化液が漏れ、腹膜炎などを引き起こし、緊急手術となることがあります。

また生検を行った場合に少量の出血が見られますが、通常は短時間で自然止血されます。止血困難な場合、まずは内視鏡的止血処置を行います。

他に検査前の麻酔剤によるアレルギーなど、予期せぬ偶発症も起こりえます。特に生命に関わるような偶発症が起こった場合には迅速に対応し、緊急手術も含めて回復に努めます。

### [検査中の鎮静剤の使用について]

当院の健診では使用しません。苦痛緩和に最大限努めますが、耐え難い苦痛がある場合は検査を中止することもありますのでご了承ください。

### [検査後の注意]

咽頭麻酔の影響は30分以上残ります。食事は1時間後からお願いします。

### [代替可能な検査法]

胃X線検査がありますが、精度が劣り生検もできません。

完全な代替となる検査方法はありません。

## 上部消化管(食道・胃・十二指腸)内視鏡検査に関する同意書

JA高知病院JA高知健診センター長 殿

検査予定日： 年 月 日

私は「上部消化管(食道・胃・十二指腸)内視鏡検査説明書」について、その内容を理解しました。

その上で上部消化管(食道・胃・十二指腸)内視鏡検査を受けることに、

同意します

同意しません

記載年月日： 年 月 日

同意者本人(自筆署名)： \_\_\_\_\_

※検診受診様本人で判断できない又は記名できない状況・場合に代諾者が自筆署名してください、

代諾者(自筆署名)： \_\_\_\_\_

検診受診者様氏名： \_\_\_\_\_

検診受診者様との関係： \_\_\_\_\_

※同意書は、健診当日受付にご提出下さい。